

フロストバスター

凍霜害のリスクを下げるコーヒー由来の天然抽出物
低温予報の前日に散布!

対象作物



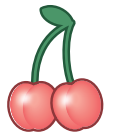
りんご



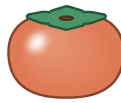
なし



もも



おうとう



かき

その他果樹
(花芽が霜害対象のもの)

使用方法

1

低温予報の前日に
本剤を500倍に
希釈して散布してください。



2

散布液が乾くまでの時間を
確保するために夕方以降の
散布は避けてください。



3

1製品あたり20aを目安に
散布してください。



使用上の注意



- 使用時期や気象条件等により、効果が期待できない場合があります。
- 推奨希釈倍数以外で散布すると効果が低下する可能性があります。
- 散布後24時間以上経過すると効果が低下する可能性があります。



2019年 試験 りんごの凍霜害抑制

概要: りんご生産者の圃場において、低温予報前日に本剤の凍霜害抑制効果を評価

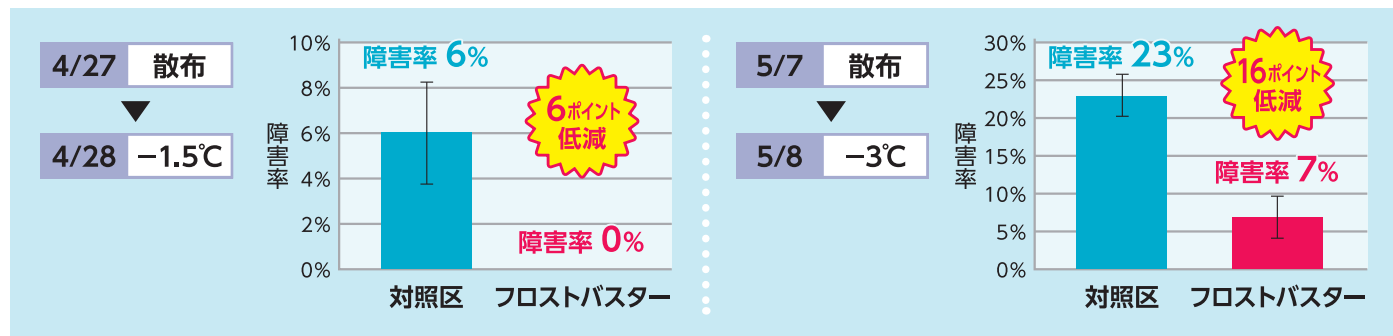
場所: 長野県小諸市 現地圃場

品種: ふじ

処理方法: 試験区、対照区各5本ずつ設定。低温予報前日に試験区5本に本剤（500倍希釈）を散布。

※散布日：① 4月27日（翌4月28日に低温遭遇） ② 5月7日（翌5月8日に低温遭遇）

調査方法: 低温遭遇後、障害花発生程度（障害発生率＝障害花数／調査花数）について、試験区、対照区を比較調査。



【対照区】



霜害直後多くの花が
褐変し落花 (5月9日撮影)



収穫直前果実の結実量が
少ない (11月22日撮影)

【フロストバスター区】



霜害直後多少褐変している
ものの着花 (5月9日撮影)



収穫直前果実が多く
結実している (11月22日撮影)

2020年 試験 なしの凍霜害抑制

概要: なし圃場より採取した枝を低温処理し、本剤の凍霜害抑制効果を評価

場所: 栃木県宇都宮市 栃木県農業試験場（温室）

品種: 豊水

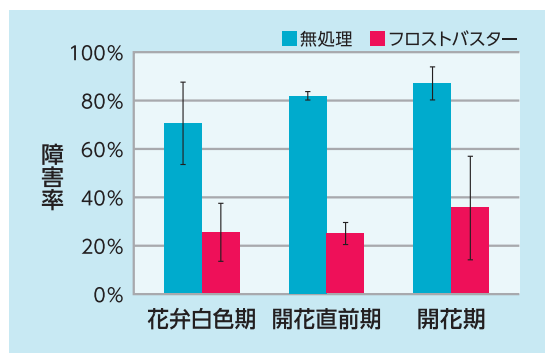
処理方法: 1月31日に圃場の樹から1年枝を各区3枝ずつ採取し、温室で開花 3月2日に本剤（500倍希釈）を散布。

散布後は10°Cで保存し、散布翌日に3時間・0°C、その後1時間後・-1.5°Cで低温処理。

低温処理後は緩やかに温度を上昇させ10°Cに戻した。

※散布ステージ：花弁白色期、開花直前期、開花期

調査方法: 障害花程度別発生数（0：障害なし、1：花弁褐変または雌ざい褐変、2：子房褐変）を低温処理翌日に調査。



NICHINO

日本農薬株式会社

東京都中央区
京橋1丁目
19番8号

TEL: 0570-09-1177 URL: <https://www.nichino.co.jp/>

2023年12月作成版 (TS) FR12312S